

## 平成25年度 南魚沼郡小外国語活動部 活動報告

部長 穴沢良一

### 1 研究主題 コミュニケーション能力を高める指導法の工夫

### 2 研究の概要

部員は市公開授業研修会及び南魚沼市学習指導センター研修講座に積極的に参加し、参加後に各自レポートを作成・報告する。また、夏季研修会を開催し各学校の取組についての情報交換を通して優れた取組を自校の実践に生かす。



### 3 研究の実際

- (1) 7月31日国際科必修講座「かかわり愛、学び愛、英語教育のあり方について考えよう」をテーマに学習指導センター指導主事より講話をいただく。(講話内容の感想を一部以下に掲載)

□自己表現である「I」と大切な君である「You」を基にしながら、コミュニケーションを図る活動を繰り返すことで人間関係が良好になる。さらに、それを3人称表現に広げていくことで、他者理解を深めることもできる。

- (2) 8月2日夏季研修会「教育課程研究集会伝達講習」「グループ協議・情報交換会」

□新学習指導要領の趣旨にある「言語活動の充実」の視点からも、国際科が果たす役割は大きい。今後もさらに、指導と評価の一体化を図り、児童のコミュニケーション能力を育成することが大切である。

- (3) 12月2日外国語活動講演会 文京学院大学 大島希巳江様より「英語落語を通じて世界を笑顔に」をテーマに開催

□「英語が通じた」、「笑ってもらえた」、「好意をもってもらえた」という実感は、話し手に満足感をもたらす。再び英語で話してみたいという意欲も増す。したがって、コミュニケーション能力を高めるために、英語落語はとても効果がある。

- (4) 12月4日 国際科授業公開を三用小学校で開催

□デモや個人、ペア、グループでの練習等を取り入れたスモールステップのある授業構成がよい。児童は、不安感をもたずに、安心して表現することができる。

□HRTとALTの打合せの機会を確保し、連携して授業を進める。HRTは会話力を問われて困難を感じるが、ALTを活用して、できる英語からトライすればよい。そうした姿を児童に見せることも大切である。

### 4 成果と課題

今年度の事業は、英語活動についての部員の知見を広げる点で大変バランスがとれていた。来年度以降も英語活動の充実のため、優れた指導法を学んで共有するべく、部としての取組をさらに進めていく。